



心も体も元気な岡村っ子

おもいやりをもち、
かがやく自分を求めて、
むちゅうになって共に学び
みらいを創っていく子



横浜市立岡村小学校・学校だより <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/okamura/>

岡村オリンピックにみる「令和の日本型学校教育」



副校長 森下 誠



5月25日土曜日に「岡村オリンピック2024」を開催しました。多くの御来賓や保護者、地域の方に御来校いただき、笑顔いっぱいの運動会となりました。

子どもたちの演技や競技等をご覧になり、皆さんは何を感じられたでしょうか。

令和3年に国から示された『令和の日本型学校教育』の構築を目指して」では、「全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現」を目指すとされています。「個別最適な学び」としては、子どもの成長やつまずき、悩みなどの理解に努め、個々の興味・関心・意欲等を踏まえて指導・支援すること、「協働的な学び」としては、探究的な学習や体験活動等を通じ、子ども同士で、あるいは多様な他者と協働しながら、他者を価値ある存在として尊重し、様々な社会的な変化を乗り越え、持続可能な社会の創り手となること等について挙げられています。

このことについて岡村オリンピックに照らしてみると、まず、子どもたちは演技や競技、高学年であれば係活動等も含め「めあて」を立てます。自分が特に頑張りたいことを決め、その達成のために練習や準備をします。ここで、「個」としての力（資質・能力等）の伸長を図ります。さらに、同じクラスや学年、異学年、さらには保護者や地域の方等、「他者との関わり」の中で、「協力」、「調整」、「我慢」、「承認」等、社会性の醸成につながることを目指しています。このように、今回の岡村オリンピックの取組を通して、「個」を尊重しながら、「他者との関わり」等を学んでいます。

末筆ながら、岡村オリンピック開催に向けてご尽力くださったPTA役員並びに各実行委員の皆様、子どもたちに温かな声援を送ってくださったすべての皆様に心から感謝申し上げます。